

中泊町の未来のために独創的なビジネスを提案 ビジネスプランコンテスト2025を開催

少子高齢化・過疎化の進展における地域課題の解決に資するビジネスプランや新たなローカルビジネスの創出に向けた取組みなどを支援し、次代を担う人材の起業・創業などの新たなチャレンジを促進することで地域経済の発展に寄与することを目的とした〈NAKADOMARIビジネスプランコンテスト2025〉が10月4日(土)にパルナスホールで開催されました。

会場では多くの来場者が見守るのなか、最終審査に残った2組がそれぞれのプランを発表し、そのプランをもとに町長をはじめとした審査員が審査、また、昨年度最優秀賞に輝いた唐田惟茉紀さんも登壇し、昨年提案したプランの進捗状況を発表しました。

今年は最優秀賞に小野益伸さんが提案した「車中泊の聖地・中泊プロジェクト」、優秀賞に福地真也さんが提案した「中泊しお物語」が選ばれました。



紅葉染まりきらぬ秋のため池を満喫

第15回大沢内ため池ウォーキング

第15回大沢内ため池ウォーキングが10月5日(日)に開催されました。今年は約100人の参加者が中泊町総合福祉健康センター「湯らばーく」からスタートし、Aコース(11Km)とBコース(7Km)の2コースに分かれて健脚を披露しました。

この日はあいにくの天気でしたが、津軽鉄道に乗車し大沢内駅に着いて駅舎を撮影したり、平成の名水百選にも選ばれた、ため池の水を堪能するなど参加者は思い思いに楽しんでいました。

また、ゴール地点の農産物直売所ピュアでは豪華な町の特産品などが当たる抽選会も行われ、参加者は思いがけないお土産によろこんだり、ピュアの新鮮な野菜を目にして買い求める姿も多くみられました。

